己斐東ふれあいフェスタ
広島市立己斐東小学校　期間　平成１３年１０月２０日（土）～２３日（火）

○　実施内容

本校では，１０月２０日（土）に，保護者・地域の方とともに楽しむ「ふれあいフェスタ」を組み入れた。これは，保護者主催の行事に，児童や職員や地域の方が参加し，ともに楽しいひとときを共有しながら，交流を深めていこうとするものである。昨年度から，己斐中学校吹奏楽部の出演も加わり，ますます賑やかになっている。開会式では，児童の「銭だいこ」，中学生による「ブラスバンド演奏」が披露され，児童は，憧れの眼で見入っていた。その後は，運動場，体育館，中庭を使って，様々な催し会場が作られ，三々五々，時間を惜しみながら参加する児童・保護者の姿が見られた。会場のあちこちでは，先生とともにリラックスしてカン積みゲームをする児童や，地域の方から「ぞうりづくり」を教えてもらい，熱心に編んでいる児童，手作りのうどんやおむすびを味わっている児童，仲間とともに，恵まれない世界の子どもたちのために手作りのクッキーを作って売り，寄付しようと張り切っている「フリー・ザ・チルドレン」運動の児童，それを陰で支えているお母さんたち，地域の茶道の先生とともにクラブ活動で鍛えたおてまえを野立てで披露し，しずしずと抹茶を運んでいる児童たち等，終始和やかな雰囲気の中，生き生きと動く児童の姿や，ともに参加しながら温かく見守ってくださる保護や地域の方の姿が見られた。１・２校時は，授業参観もしていただき，盛りだくさんの１日ではあったが，学校や地域が一体となってのこの催しは，自然な形での「学校を開く」よい機会であった。

○　保護者・地域の人の反応や意見

「ふれあいフェスタ」を「学校へ行こう週間」に組み入れたことにより，多くの方の参加が得られた。参加者からは，「参観日と異なり，また違った面が見られたように思います。また，このような機会があったらぜひ参加させていただきたい。」という感想が寄せられるなど，授業中だけでは見られない児童の様子を見ることができたこと，自然な形での交流ができたことなどで大変好評だった。

○　成果と今後の課題

地域や保護者の方々の大きな支援を感じる中，児童は自分たちが地域の人々から温かく見守られながら育っていることを強く感じたと思う。また，たくさんの方の参加を得られ，子どもたちとの交流を深めてもらい，学校への理解もより一層進んだと思う。課題としては，児童も準備の段階からいっしょに取り組み，片付けもともにする等，「ふれあいフェスタ」への参加のあり方を考えていかねばならないと思う。